

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/09/14

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.72	0.13
JPY/THB	0.2422	0.0003
USD/JPY	147.46	0.38
EUR/THB	38.32	0.04
EUR/USD	1.0730	-0.0024
USD/CNH	7.272	-0.030
SGD/THB	26.25	0.09
AUD/THB	22.94	0.06
USD/INR	82.99	0.06
USD Index	104.77	0.06

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.760	0.044
10Y (THB)	3.036	0.062
5Y (USD)	4.384	-0.046
10Y (USD)	4.249	-0.032

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,914.4	-2.8
WTI (Oil)	88.52	-0.32
Copper	8,417.0	26.0

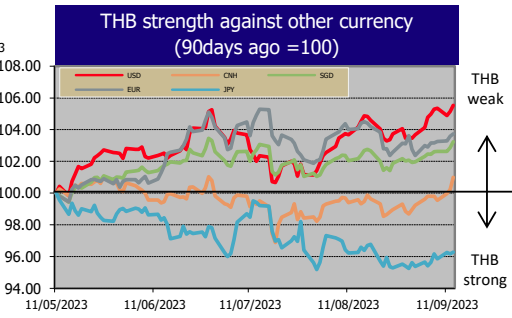
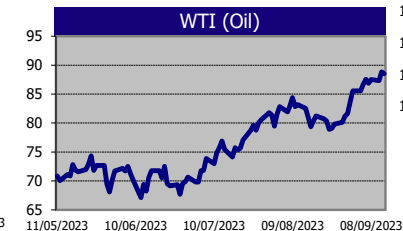
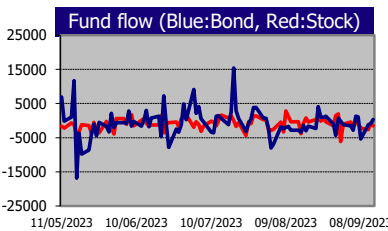
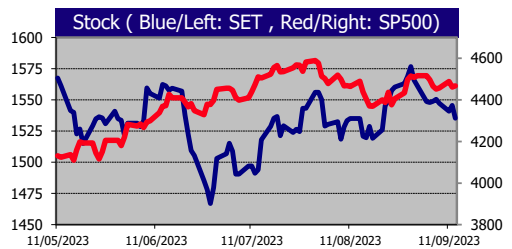
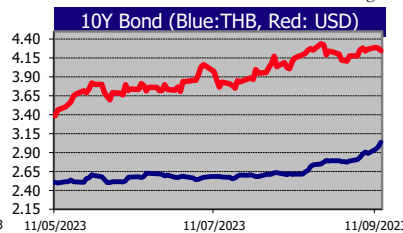
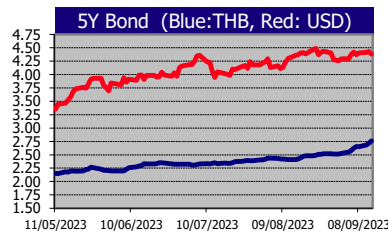
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,535.31	-10.19
NIKKEI (JP)	32,706.52	-69.85
DOW (US)	34,575.53	-70.46
S&P500 (US)	4,467.44	5.54
SHCOMP (CN)	3,123.07	-13.99
DAX(GER)	15,654.03	-61.50

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,510)	-737.9
Bond net flow	381	1312.2

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは小幅に上昇。35パーツ台半ば付近で取引を開始。前日からの流れを引継ぎ、タイ新政権の政策先行き不透明感、原油高等を背景にパーツ売りが先行する展開。ドルパーツは35パーツ台後半まで底堅く推移し、バンコク時間終盤には年初来高値を更新する動きを見せた。海外時間に入り、注目された米8月CPIはコアCPIが前月比で先月・市場予想ともに上回ったことが確認され、初動はドル買いで反応。バンコク時間に付けた年初来高値をさらに更新するも、その後は前年比では前月から鈍化していることが材料視され35パーツ台半ばまで下落する等、強弱入り混じる結果にドルパーツも上下。結局、終盤にかけては35パーツ台後半まで戻し、35.72レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は小幅に上昇。147円台前半でスタートすると、ユーロ、オーストラリアドル等のクロス円が上昇する中、ドル円も147円台半ばまで上昇し、植田日銀総裁のインタビュー記事を受けた週初7.34台から7.26台まで円を押し上げたものの、その勢いは長続きしなかった。やはり口先ではなくファンダメンタルズや金融政策の転換等が確認されないと相場の基調はなかなか変わらないということだろう。中国では15日に小売売上、鉱工業生産、固定資産投資、失業率等のデータが公表される。毎月中旬に公表される一連の経済指標だが、8月はこの結果を受けて元安が進んだだけに注意をしておきたい。そのほか本日のECB政策理事会を皮切りにこれから主要国の金融政策決定会合が続く。市場では日米欧ともに現状維持を見込む向きが多く、それ以外の決定だと相場を動揺させる可能性がある。これまで神経質に水準を切り上げてきたようにも見えるドル円とドル人民元。警戒すべきは急落リスクか。(吉田)

Bangkok Dealer's Eye

今週もドル円と人民元に一時慌ただしい動きがみられたが、結局のところ相場の流れを変えるには至っていないようだ。ドル円は、前週末の植田日銀総裁のインタビューを契機に週初147円台後半から145円台後半まで円が急伸、人民元は流動性の薄い時間帯を狙った人民銀行による元安けん制声明や、通常引け後に発表する統計を日中に出す奇策等で週初7.34台から7.26台まで円を押し上げたものの、その勢いは長続きしなかった。やはり口先ではなくファンダメンタルズや金融政策の転換等が確認されないと相場の基調はなかなか変わらないということだろう。中国では15日に小売売上、鉱工業生産、固定資産投資、失業率等のデータが公表される。毎月中旬に公表される一連の経済指標だが、8月はこの結果を受けて元安が進んだだけに注意をしておきたい。そのほか本日のECB政策理事会を皮切りにこれから主要国の金融政策決定会合が続く。市場では日米欧ともに現状維持を見込む向きが多く、それ以外の決定だと相場を動揺させる可能性がある。これまで神経質に水準を切り上げてきたようにも見えるドル円とドル人民元。警戒すべきは急落リスクか。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.